



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月30日

上場会社名 扶桑化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4368 URL http://www.fusokk.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉田 真一  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 伊藤 裕之 TEL 03-3639-6311  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 2020年12月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	20,340	0.0	4,629	6.1	4,505	2.3	3,086	2.4
2020年3月期第2四半期	20,333	△4.6	4,364	△16.8	4,403	△21.7	3,013	△22.4

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 3,131百万円 (23.1%) 2020年3月期第2四半期 2,543百万円 (△37.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	86.92	—
2020年3月期第2四半期	84.87	—

(参考) 減価償却前連結営業利益 (連結営業利益+減価償却費)

2021年3月期第2四半期 7,117百万円 2020年3月期第2四半期 6,432百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	71,160	62,604	88.0	1,763.32
2020年3月期	69,222	60,289	87.1	1,698.11

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 62,604百万円 2020年3月期 60,289百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	23.00	—	23.00	46.00
2021年3月期	—	23.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,200	2.2	8,150	△7.7	8,250	△7.9	5,600	△20.2	157.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

(参考) 減価償却前連結営業利益 (連結営業利益+減価償却費)

通期 13,550百万円 (1.4%)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	35,511,000株	2020年3月期	35,511,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	7,383株	2020年3月期	7,359株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	35,503,619株	2020年3月期2Q	35,503,798株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大幅に落ち込みました。各国政府は大規模な経済対策を実施し、中央銀行も金融緩和により経済を強力に下支えました。感染拡大に一定の歯止めがかかった後、経済活動の再開とともに株価が回復する等、経済回復に明るい兆しもありますが、欧州では感染者数が再び増加傾向に転じ、世界的な感染症の収束は未だ見通せない状況にあります。加えて米中対立の激化も継続し、先行きは不透明な状況にあります。

日本経済においては、新型コロナウイルス感染拡大により発令された緊急事態宣言下で経済活動は停滞し、景気は大幅に落ち込みました。緊急事態宣言解除後、経済活動は徐々に再開され、補正予算や各経済政策により景気の落ち込みは底を打ちましたが、感染者数は横ばいで推移しており、個人消費や経済活動の本格的な回復には未だ不透明な状況が続いています。

このような情勢下、当社グループは従業員への感染対策を徹底し、事業の継続に注力するとともに、成長を持続するため、各事業において新規設備の本格稼働への対応や供給体制維持のための原料の安定確保等、経営基盤の一層の強化に取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は20,340百万円（前年同期比0.0%増、6百万円増）となりました。営業利益は4,629百万円（同6.1%増、264百万円増）、経常利益は4,505百万円（同2.3%増、101百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,086百万円（同2.4%増、72百万円増）となりました。

売上高は微増にとどまりましたが、営業利益は後述の各セグメントの要因により増益となりました。経常利益は、前四半期連結累計期間と比較して為替差損が増加したものの、営業利益の増加により増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前四半期連結累計期間と比較して固定資産除却損が減少した影響により増益となりました。新型コロナウイルス感染拡大の当第2四半期連結累計期間における当社グループ業績への影響は、全般的には限定的でしたが、景気後退の影響により需要が落ち込んでいる業界もあり、今後の状況を注視していきます。

当社グループの報告セグメントの業績は、次のとおりです。

#### （ライフサイエンス事業）

ライフサイエンス事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が11,326百万円（前年同期比8.1%減、1,002百万円減）、営業利益は1,714百万円（同27.3%減、645百万円減）となりました。

日本においては、前連結会計年度に引き続き、原料価格に連動して販売価格が変動する契約となっている製品の販売単価が低下したことに加え、飲料用途等、外出自粛による経済低迷の影響を受けた業界向け製商品の販売が減少しました。また、海外子会社においては、足元では持ち直しの兆しはあるものの、中国、米国の経済の落ち込みの影響を受けました。以上の要因により、売上高は前四半期連結累計期間を下回りました。営業利益は、原料価格の低下によるコストダウン効果はあったものの、新規設備の稼働に伴う減価償却費の増加によるコストアップや売上高減少の影響により、前四半期連結累計期間を下回り、減収減益となりました。

#### （電子材料および機能性化学品事業）

電子材料および機能性化学品事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が9,014百万円（前年同期比12.6%増、1,009百万円増）、営業利益は3,573百万円（同36.7%増、958百万円増）となりました。

半導体市場は米中対立等の懸念材料はあるものの、デジタル化の進展に伴うデータ量の増大によるサーバー需要の増加等により引き続き堅調に推移しました。さらに、半導体の微細化の進展に伴い、当社製品の超高純度コロイダルシリカの採用も増加しています。在宅勤務の進展によるトナー需要の減少等により、ナノパウダーの売上は減少しましたが、前連結会計年度から引き続き在庫を積み増すユーザーもおり、超高純度コロイダルシリカの売上が堅調に推移した結果、売上高は前四半期連結累計期間を上回りました。営業利益は、売上高の増加、増産によるコストダウン効果により、前四半期連結累計期間を上回り、増収増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,937百万円増加し、71,160百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ377百万円減少し、8,555百万円となりました。これは主に、未払金の減少によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2,314百万円増加し、62,604百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年5月8日の決算短信で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,468,059	20,016,046
受取手形及び売掛金	10,274,938	9,773,555
有価証券	98,055	106,974
商品及び製品	6,369,281	6,590,469
仕掛品	456,399	515,939
原材料及び貯蔵品	1,282,454	1,506,249
その他	558,988	363,065
貸倒引当金	△8,635	△7,817
流動資産合計	35,499,542	38,864,481
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,701,029	10,370,763
機械装置及び運搬具(純額)	10,609,162	9,291,350
土地	6,890,096	6,887,241
建設仮勘定	307,871	515,959
その他(純額)	382,991	362,243
有形固定資産合計	28,891,152	27,427,559
無形固定資産	2,423,654	2,237,294
投資その他の資産		
投資有価証券	852,765	971,638
長期前払費用	40,049	216,929
繰延税金資産	1,299,544	1,240,652
退職給付に係る資産	41,634	28,056
その他	178,396	177,613
貸倒引当金	△4,000	△4,000
投資その他の資産合計	2,408,389	2,630,889
固定資産合計	33,723,196	32,295,742
資産合計	69,222,738	71,160,224

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,083,944	1,817,648
未払金	2,883,888	2,030,929
未払法人税等	940,857	1,212,234
賞与引当金	545,961	537,338
役員賞与引当金	83,440	50,830
修繕引当金	280,551	327,246
その他	277,924	579,311
流動負債合計	7,096,567	6,555,537
固定負債		
繰延税金負債	121,458	120,523
退職給付に係る負債	1,601,092	1,555,467
長期設備未払金	-	204,337
資産除去債務	8,289	8,289
その他	106,050	111,796
固定負債合計	1,836,891	2,000,414
負債合計	8,933,458	8,555,952
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,334,047	4,334,047
資本剰余金	4,820,722	4,820,722
利益剰余金	49,950,515	52,220,145
自己株式	△4,694	△4,771
株主資本合計	59,100,590	61,370,144
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	333,382	413,292
繰延ヘッジ損益	1,889	△230
為替換算調整勘定	853,416	821,064
その他の包括利益累計額合計	1,188,688	1,234,127
純資産合計	60,289,279	62,604,271
負債純資産合計	69,222,738	71,160,224

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	20,333,313	20,340,311
売上原価	12,760,863	12,417,096
売上総利益	7,572,449	7,923,215
販売費及び一般管理費	3,207,558	3,293,892
営業利益	4,364,890	4,629,323
営業外収益		
受取利息	37,836	13,242
受取配当金	13,003	13,128
受取手数料	6,818	4,996
その他	18,813	15,201
営業外収益合計	76,472	46,568
営業外費用		
為替差損	36,589	164,184
その他	1,143	6,512
営業外費用合計	37,732	170,696
経常利益	4,403,630	4,505,195
特別利益		
固定資産売却益	39	91
受取保険金	44,149	—
補助金収入	13,637	3,258
特別利益合計	57,826	3,350
特別損失		
固定資産除却損	102,490	12,191
投資有価証券評価損	2,365	—
特別損失合計	104,856	12,191
税金等調整前四半期純利益	4,356,601	4,496,354
法人税、住民税及び事業税	1,332,421	1,382,488
法人税等調整額	10,844	27,651
法人税等合計	1,343,265	1,410,139
四半期純利益	3,013,335	3,086,214
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,013,335	3,086,214



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	3,013,335	3,086,214
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32,950	79,910
繰延ヘッジ損益	△1,491	△2,119
為替換算調整勘定	△435,598	△32,352
その他の包括利益合計	△470,040	45,438
四半期包括利益	2,543,295	3,131,652
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,543,295	3,131,652
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,356,601	4,496,354
減価償却費	2,067,860	2,488,373
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,528	△622
賞与引当金の増減額(△は減少)	15,444	△8,913
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,875	△32,610
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△41,778	△32,047
修繕引当金の増減額(△は減少)	△124,008	46,694
受取利息及び受取配当金	△50,840	△26,371
為替差損益(△は益)	44,537	136,074
固定資産売却損益(△は益)	△39	△91
固定資産除却損	102,490	12,191
投資有価証券評価損	2,365	—
受取保険金	△44,149	—
補助金収入	△13,637	△3,258
売上債権の増減額(△は増加)	282,831	490,269
たな卸資産の増減額(△は増加)	6,767	△500,424
仕入債務の増減額(△は減少)	98,040	△266,437
未払金の増減額(△は減少)	△140,437	△104,667
その他	319,027	381,768
小計	6,866,727	7,076,283
利息及び配当金の受取額	48,215	33,369
保険金の受取額	44,149	—
補助金の受取額	13,637	3,258
法人税等の支払額	△1,057,266	△1,098,474
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,915,464	6,014,437
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△242,451	△436,154
定期預金の払戻による収入	640,543	387,409
有価証券の取得による支出	△238,887	△107,989
有価証券の売却による収入	130,324	96,228
有形固定資産の取得による支出	△1,636,304	△1,369,778
有形固定資産の売却による収入	590	108
無形固定資産の取得による支出	△366,751	△134,528
投資有価証券の取得による支出	△4,159	△4,209
長期貸付金の回収による収入	26	30
その他	△12,108	10,785
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,729,178	△1,558,097
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	—	△76
配当金の支払額	△816,559	△818,178
リース債務の返済による支出	△4,150	△2,821
財務活動によるキャッシュ・フロー	△820,709	△821,076
現金及び現金同等物に係る換算差額	△150,019	△142,910
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,215,555	3,492,352
現金及び現金同等物の期首残高	10,223,662	16,083,028
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,439,218	19,575,381

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料およ び機能性化学 品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,328,573	8,004,739	20,333,313	—	20,333,313
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,328,573	8,004,739	20,333,313	—	20,333,313
セグメント利益	2,359,132	2,614,629	4,973,762	△608,871	4,364,890
減価償却費	292,445	1,767,044	2,059,489	8,370	2,067,860

(注) 1. セグメント利益の調整額は、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用△608,871千円です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項  
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料およ び機能性化学 品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,326,219	9,014,092	20,340,311	—	20,340,311
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	222	222	△222	—
計	11,326,219	9,014,314	20,340,534	△222	20,340,311
セグメント利益	1,714,052	3,573,177	5,287,230	△657,907	4,629,323
減価償却費	824,075	1,651,820	2,475,896	12,477	2,488,373

(注) 1. セグメント利益の調整額は、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用△657,881千円、その他△25千円です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項  
該当事項はありません。